

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

## 事業名 飛騨牛銘柄推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 飛騨牛銘柄推進室 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111(内4139)

E-mail : c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 900千円 (前年度予算額： 900千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	900	0	0	0	0	0	0	0	900
要求額	900	0	0	0	0	0	0	0	900
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・飛騨牛の銘柄化を推進するため、昭和62年度に設立された飛騨牛銘柄推進協議会は、食肉関係機関が一体となった組織として、普及啓蒙活動を通じ、「飛騨牛」のブランド化・知名度向上の一翼を担ってきた。
- ・飛騨牛銘柄推進協議会は、「飛騨牛」の生産基盤を盤石のものとするため、食肉の消費拡大活動や信頼確保事業に取組んでいる。
- ・飛騨牛銘柄推進協議会の事業は、主に会費で実施しており、限られた予算の中で、年々増加する課題をこなしていくことは、困難となってきている。

## (2) 事業内容

- ・飛騨牛銘柄推進協議会(事務局：全農岐阜県本部畜産販売課)が行う、飛騨牛の普及宣伝等対策事業に対し、助成を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

当協議会は生産・流通・販売の関係団体が構成員となっており、銘柄化を推進するには県と連携して取り組む必要があることから、県が普及宣伝にかかる経費の1／2以内を負担する。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	900	飛騨牛PRのための広告等への補助
合計	900	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 事業主体及びその妥当性

当協議会は生産・流通・販売の関係団体が構成員となっており、「飛騨牛」ブランドの普及宣伝・PRを目的とする本事業の助成先として最も効率的である。

#### 【会員】

一般社団法人岐阜県畜産協会

岐阜県肉用牛協会

岐阜県農業協同組合中央会

全国農業協同組合連合会岐阜県本部

岐阜県食肉事業協同組合連合会

岐阜県家畜商協同組合

JA全農ミートフーズ株式会社中部営業本部吉田ハム支店

株式会社 岐阜県畜産公社

飛騨ミート農業協同組合連合会

# 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## (事業内容)

補助事業名	飛騨牛銘柄推進事業
補助事業者（団体）	飛騨牛銘柄推進協議会 (理由) 当協議会は生産・流通・販売の関係団体が構成員となっており、銘柄化を推進するには県と連携して取り組む必要がある。
補助事業の概要	(目的) 「飛騨牛」銘柄の推進 (内容) 飛騨牛銘柄推進協議会が行う、飛騨牛の普及宣伝等対策事業に対し、助成を行う。 (理由) 飛騨牛のブランド化には、県と協議会が連携して推進する必要があること。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 飛騨牛の普及宣伝にかかる経費の1/2以内 (理由) 飛騨牛のブランド化には、県と協議会が連携して推進する必要があること。
補助効果	飛騨牛ブランド価値の向上
終期の設定	終期 令和12年度 (理由) ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）の目標年度のため。

## (事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか  
「飛騨牛」ブランドの信頼確保に取り組むとともに、知名度の浸透を図る各種PR活動によりブランドの価値と知名度を向上させる。

## (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3末)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①行事協賛・イベント開催	10	10	10	10	10	100%

## (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	TV、ラジオ等での消費者への宣伝、会報誌・宣伝資材（海外向け含む）によるPR、応募キャンペーンやYouTuberとのコラボ等による飛騨牛の普及宣伝活動に対し、助成を行った。
	指標① 目標：10 実績：10 達成率： 100 %
令和5年度	飛騨牛の普及宣伝のためのSNSでの応募キャンペーンやレシートでの応募キャンペーン、YouTuberとのコラボや県農業フェスティバルでのイベント、それらに関わる普及宣伝活動に対し、助成を行った。
	指標① 目標：10 実績： 10 達成率： 100%
令和6年度	飛騨牛の普及宣伝のためのSNSでの応募キャンペーンやレシートでの応募キャンペーン、プロ野球公式戦スポンサー広告や県農業フェスティバルでのイベントによる普及宣伝活動に対し、助成を行った。
	指標① 目標：10 実績： 10 達成率： 100%

## (事業の評価)

### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	協議会の運営は、主として会費で成り立っているが、年々増加する課題をこなしてゆくためには財源が限られている。岐阜県は会員ではないものの、官民一体となって協議会設立時から関与しており、観光資源としても重要な位置を占める「飛騨牛」ブランドを守り、発展させていくためにも事業は必要である。
-----------	--

### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり）

2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成）

1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%）

0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）

(評価) 2	「飛騨牛」ブランド価値向上に向けた取組みを、構成団体などと協力しつつ主となり取り組んでおり、官民一体で取り組む上で、県が支援する団体として適している。
-----------	---

### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	最適の団体に補助が行われている。
-----------	------------------

## (今後の課題)

### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

新規市場開拓に向けた取組みや、信頼性維持のための取組み等、行うべき課題が増えており、効果的に事業を実施するための検討が必要である。

## (次年度の方向性)

### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

協議会の普及宣伝活動は、飛騨牛ブランドの信頼確保、新規市場開拓において重要な役割を果たしており、事業の継続は必要。